



## スポット ニュース

### 「おもしろ科学館 2019in みずなみ」への出展

10月26, 27日、瑞浪市民体育館にて経済産業省中部経済産業局及び瑞浪市主催による「おもしろ科学館 2019inみずなみ」が開催されました。

東濃地科学センターではブースを設け、「花崗岩の標本箱を作ろう!」と題し、偏光顕微鏡で花崗岩を見た画像がデザインされた用紙を、ハサミとのりで組み立て標本箱作りを体験していただきました。

また、おもしろ科学館会場横の道路沿いには、地層や断層を見ることができるところがあり、その場所を使って研究者が解説する見学ツアーも実施しました。当センターのブースには、2日間で約1,000名の方にお越しいただきました。



花崗岩の標本箱作りの様子



地層・断層ツアーでの地層観察

### サイエンスカフェの開催案内 (各回: 10:00開始)

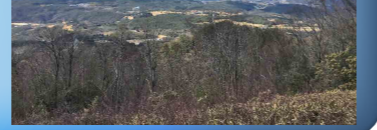
#### 第4回 11/30 (土) 「地形と地層から読む大地の変化」

こまつ てつや  
**小松 哲也**

ネオテクトニクス  
研究グループ  
研究員・博士  
(環境科学)

地形と地層には、大地の成り立ちが記録されています。講演では、東濃地域を事例に地形と地層からどのようにして大地の変化を読み解いていくのか、また、どのような変化を経て現在の風景に至ったのかについてお話します。

屏風山の山頂からのぞむ瑞浪盆地。頭の高さが揃った丘陵がひろがる。この風景の成り立ちとは?



会場 土岐市産業文化振興センター  
セラトピア土岐 3F 2,3 会議室

#### 第5回 12/14 (土) 「見えない地下の可視化手法」

おざき ゆうすけ  
**尾崎 裕介**

結晶質岩地質環境  
研究グループ  
研究員・博士  
(工学)

地下の世界は光が届かないために、どのようにしているのか直接目で見ることはできません。そこで、地下の世界を可視化するために、「物理探査」という可視化技術が用いられます。講演では、見えない地下を可視化する技術の仕組みや、実際の地下の可視化事例に関して紹介いたします。



深度500m地下坑道での地下探査を実施している様子

会場 瑞浪市総合文化センター  
2F 視聴覚室

#### 第6回 1/18 (土) 「超小型装置で時代の謎を解き明かす」

ふじた なつこ  
**藤田 奈津子**

年代測定技術開発グループ 研究員・博士 (理学)

地球科学や考古学の分野において、化石や遺物、遺跡などの年代を測定する方法のひとつに加速器質量分析という方法があります。土岐地球年代学研究所では、加速器質量分析を今まで以上に様々な分野に役立てられるように、小型化させた装置を開発中です。講演では加速器質量分析の歴史から開発状況までご紹介いたします。



土岐地球年代学研究所にある加速器質量分析装置の模型

会場 土岐市産業文化振興センター  
セラトピア土岐 3F 2,3 会議室

### お申込み・お問合せ先

東濃地科学センター 総務・共生課 TEL 0572-66-2244 (代表)  
参加申込の受付時間: 9:00 ~ 16:00 (土日・祝日を除く)



参加無料  
(定員: 各回先着 30名)

### 12月の主な作業予定

#### 【瑞浪超深地層研究所】

- ① 表層水理定数観測(地下水位観測)
- ② 狭間川における流量観測及び研究所周辺井戸での水位観測
- ③ 研究坑道の排出水等の環境管理測定
- ④ 研究坑道の湧水に含まれるふっ素、ほう素を排水処理設備で除去後に排水
- ⑤ 研究坑道内におけるボーリング試験・観察(国からの受託業務)
- ⑥ 研究坑道内における応力計測(東濃地震科学研究所との研究協力)
- ⑦ 坑内外設備の維持管理

#### <ボーリング孔を用いた地下水の観測>

地下水の水圧・水質観測	地下水の水圧観測
◆ 地表(5孔)	◆ 深度200mボーリング横坑 (主立坑側1孔、換気立坑側1孔)
◆ 深度200m, 300m, 400m予備ステージ(各1孔)	◆ 深度300mボーリング横坑 (換気立坑側3孔)
◆ 深度300m研究アクセス坑道(2孔)	◆ 深度300m研究アクセス坑道(1孔)
◆ 深度300mボーリング横坑(換気立坑側5孔)	◆ 深度500m研究アクセス南坑道(1孔)
◆ 深度300m研究アクセス坑道(1孔)	
◆ 深度500m研究アクセス北坑道(9孔)	

#### 【正馬様用地】

- ① 地表からのボーリング孔(2孔)を用いた地下水の水圧・水質観測
- ② 表層水理定数観測(地下水位の観測)

### 瑞浪超深地層研究所の地下を体験しよう!

瑞浪超深地層研究所では、地下深部を体験できる施設見学会を開催します。

参加をご希望の方は事前申込が必要となりますので、12月16日(月)までに住所、氏名、電話番号を上記の連絡先までお知らせください。また、申込み多数の場合は締切り前に受付を終了させていただくこともありますので、ご了承ください。

【日時】令和元年12月21日(土) 9:30~12:00

【内容】深度300mステージ

【対象】小学校4年生以上

工事現場での安全の確保のため、小学生の方は4年生以上で保護者同伴をお願いします。また入坑の際は、安全装備(つなぎ服・反射ベスト・ヘルメット・安全長靴・軍手・坑内 PHS など)を着用して頂きます。工事現場ですので、狭くて急な階段等もあります。階段の昇降等が困難な方など自立歩行に支障のある方や高所、閉所恐怖症の方などは研究坑道に入坑できない場合がありますので、事前にご確認をお願いいたします。また、飲酒されている方、妊娠中の方、体調がすぐれない方はご遠慮いただいております。予約後であっても工事や現場の状況により入坑できなくなる場合がありますので、予めご了承下さい。



エレベータ(主立坑)



<<地層研ニュースに関するご意見・ご要望および施設見学会の連絡先>>

【連絡先: 東濃地科学センター 総務・共生課 まで】

☎ 0572-66-2244 (代表)

☎ 0572-68-7717

✉ tono-ck@jaea.go.jp (ご意見・ご要望)

✉ tono-kengaku@jaea.go.jp (施設見学会)



《東濃地科学センターHP》

原子力機構公式 Twitter  
[https://twitter.com/jaea\\_japan](https://twitter.com/jaea_japan)



原子力機構の Twitter では研究成果やイベント情報などをお知らせしています。



# 「瑞浪超深地層研究所に係る環境保全協定書」第2条に基づく排水水等の測定結果（令和元年10月分）

【採取日：排水水、河川水、湧水（令和元年10月3日）】

測定項目	管理目標値	工事排水水	狭間川下流
水素イオン濃度	6.5～8.5	7.1	7.2
浮遊物質	25以下	2	1未満
カドミウム	0.003以下	0.0003未満	0.0003未満
全シアン	検出されないこと※7	ND(0.1未満)※8	ND(0.1未満)※8
有機燐化合物	検出されないこと※7	ND(0.1未満)※8	
有機燐			
鉛	0.01以下	0.005未満	0.005未満
六価クロム	0.05以下	0.02未満	0.02未満
砒素	0.01以下	0.005未満	0.005未満
総水銀	0.0005以下	0.0005未満	0.0005未満
アルキル水銀	検出されないこと※7	ND(0.0005未満)※8	ND(0.0005未満)※8
PCB	検出されないこと※7	ND(0.0005未満)※8	ND(0.0005未満)※8
トリクロロフルノ	0.01以下	0.001未満	0.001未満
テトラクロロフルノ	0.01以下	0.0005未満	0.0005未満
四塩化炭素	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満
クロロフルノ(別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー)			
ジクロロメタン	0.02以下	0.002未満	0.002未満
1,2-ジクロロエタン	0.004以下	0.0004未満	0.0004未満
1,1,1-トリクロロエタン	1以下	0.0005未満	0.0005未満
1,1,2-トリクロロエタン	0.006以下	0.0006未満	0.0006未満
1,1-ジクロロフルノ	0.1以下	0.002未満	0.002未満
ジ-1,2-ジクロロフルノ	0.04以下	0.004未満	0.004未満
1,2-ジクロロフルノ			
1,3-ジクロロプロパン	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満
チウラム	0.006以下	0.0006未満	0.0006未満
シマジン	0.003以下	0.0003未満	0.0003未満
チオベンカルブ	0.02以下	0.002未満	0.002未満
ベンゼン	0.01以下	0.001未満	0.001未満
セレン	0.01以下	0.002未満	0.002未満
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10以下	0.26	0.19
ふっ素	0.8以下	0.44	0.39
ほう素	1以下	0.47	0.39
塩化物イオン			
1,4-ジオキサン	0.05以下	0.005未満	0.005未満
アミン、アミン化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	—	0.26	

【単位：mg/L（水素イオン濃度はpH）】

※1 参考値	※2 立坑の湧水	※3 狭間川上流
—	8.3	7.1
		1
0.003以下	0.0003未満	0.0003未満
検出されないこと※7	ND(0.1未満)※8	ND(0.1未満)※8
0.01以下	0.005未満	0.005未満
0.05以下	0.02未満	0.02未満
0.01以下	0.005未満	0.005未満
0.0005以下	0.0005未満	0.0005未満
検出されないこと※7	ND(0.0005未満)※8	ND(0.0005未満)※8
検出されないこと※7	ND(0.0005未満)※8	ND(0.0005未満)※8
0.01以下	0.001未満	0.001未満
0.01以下	0.0005未満	0.0005未満
0.002以下	0.0002未満	0.0002未満
0.002以下	0.0002未満	
0.02以下	0.002未満	0.002未満
0.004以下	0.0004未満	0.0004未満
1以下	0.0005未満	0.0005未満
0.006以下	0.0006未満	0.0006未満
0.1以下	0.002未満	0.002未満
0.04以下		0.004未満
0.04以下	0.004未満	
0.002以下	0.0002未満	0.0002未満
0.006以下	0.0006未満	0.0006未満
0.003以下	0.0003未満	0.0003未満
0.02以下	0.002未満	0.002未満
0.01以下	0.001未満	0.001未満
0.01以下	0.002未満	0.002未満
10以下	0.083	0.18
0.8以下	9.4	0.08未満
1以下	1.3	0.02未満
—	340	
0.05以下	0.005未満	0.005未満

※4 参考値	※5掘削土の 溶出量（主立坑）	※5掘削土の 溶出量（換気立坑）
0.01以下		
検出されないこと※7		
検出されないこと※7		
0.01以下		
0.05以下		
0.01以下		
0.0005以下		
検出されないこと※7		
0.03以下		
0.01以下		
0.002以下		
0.002以下		
0.02以下		
0.004以下		
1以下		
0.006以下		
0.1以下		
0.04以下		
0.002以下		
0.006以下		
0.003以下		
0.02以下		
0.01以下		
0.01以下		
0.8以下		
1以下		
0.05以下		

主立坑の掘削作業を行っていないため掘削土の測定はありません  
換気立坑の掘削作業を行っていないため掘削土の測定はありません

- ※1 河川水や湧水は、環境基本法に定められた基準を参考値として自主管理を行っています。また、測定結果については、放流先河川の状態の把握や排水処理設備の運転の参考としています。
- ※2 立坑の湧水の値は、排水処理設備でふっ素・ほう素を除去する前の値です。排水処理後は狭間川へ排水します。
- ※3 狭間川上流は排水水が流れない場所での採水のため、測定値は狭間川そのものの水の値となります。
- ※4 掘削土の溶出量は、土壌汚染対策法に定められた基準を参考値として自主管理を行っています。測定結果の評価については、参考値と比較し参考値を超えないことを確認しています。
- ※5 掘削土の測定は、検定（測定）用の水溶液の中に掘削土を入れて溶け出した物質の量を測定します。この水の中に溶け出した物質の量のことを溶出量といいます。
- ※6 空間放射線線量率は、花木の森散策路の空間放射線線量と比較するため、周辺地域の空間放射線線量率（機構が瑞浪・土岐市内の12地点で測定）を参考値としています。また、測定結果の評価については、周辺地域の空間放射線線量率と比較し、その最大値を超えないことを確認しています。
- ※7 「検出されないこと」とは、測定項目ごとに定められた検定（測定）方法で測定した結果が当該検定方法の定量限界を下回ることを表します。
- ※8 NDとは測定値が検出できないほど微量か、またはゼロであることを表します。測定結果のカッコ内の数値は検出限界値を表します。

花木の森散策路における空間放射線線量率	参考値(9月11日～12月末日) ※6	測定結果(9月11日～12月末日)
	測定中 周辺地域の空間放射線線量率と同等	測定中 3ヶ月の集積空間放射線線量から算出

## 排水水等の塩化物イオン濃度の測定結果(10月)

【採取日：週2回】 (単位：mg/L)

測定項目	狭間川上流	立坑の湧水	工事排水水	明世小学校前取水口
塩化物イオン濃度	1.6～1.8	290～340	300～320	31～160
※( )内は月平均の値を示す (有効数字2桁 (3桁目は切り捨て)	(1.6)	(300)	(300)	(93)

◆ 塩化物イオンについては、「排水基準」や「環境基準」などの法的な規制はありませんが、濃度の高い水を稲作に長期間使用した場合には、稲の発育に影響が出るという研究事例があります。千葉県農業試験場の論文・文献などでは、稲は塩化物イオン濃度が500mg/L以下の水を使用していれば、被害が発生する可能性が少ないことから、「安全基準」として300～500mg/Lが記されています。

研究所からの排水水等には天然由来の塩化物イオンが含まれています。狭間川の下流域においては、河川水を稲作に利用していることから、上記の「安全基準」にもとづき、明世小前取水口における河川水濃度として月平均300mg/L以下を目安に管理しています。なお、月平均300mg/Lを超える、又は超えると予想される場合には直ちに耕作者の方々にお知らせします。また、これが長期間に及ぶと予想される場合は、500mg/Lを超える前までに「専用設備」による処理などの必要な対策を講じます。